

[Tip]

リンク機能で挿入画像のお手軽差替

2019-11-30

第17回 関西LibreOffice勉強会

岩橋 伴典（いさな）

2019-12-02 rev.1



自己紹介

- プロフィール

- 氏名 = 岩橋 伴典 ; ハンドル = いさな ; コールサイン = JO3EMC ;
- E-mail = jo3emc@jarl.com ; Twitter = [@jo3emc](https://twitter.com/jo3emc) ;
- 職業 = 元会社員 (無線技士) ;
- タグ = 無線, LibreOffice, Tcl/Tk (含 AndroWish) , Arduino (含 M5StickC) ,
 によロボていくす, アニメ, 日本SF大会, 新井素子, 谷山浩子, オカリナ ;
- 詳しくはWebで ♪ (<http://jo3emc.c.ooco.jp/>)

- LibreOfficeとの関わり

- OpenOffice.org 1.0リリースの頃からのおつきあい。
- よく利用する機能 = Draw, Writer, Calc ; // プレゼンテーションしませんw。
- コミュニティーへのコミット = 翻訳、バグ報告、Askで少しだけ…。 ;

写真やイラストの挿入

- どうやってる？

- ドラッグ&ドロップ (*)
- コピー&ペースト (*)
- ツールバー [画像の挿入] ★
- メインメニュー [挿入] [画像] ★

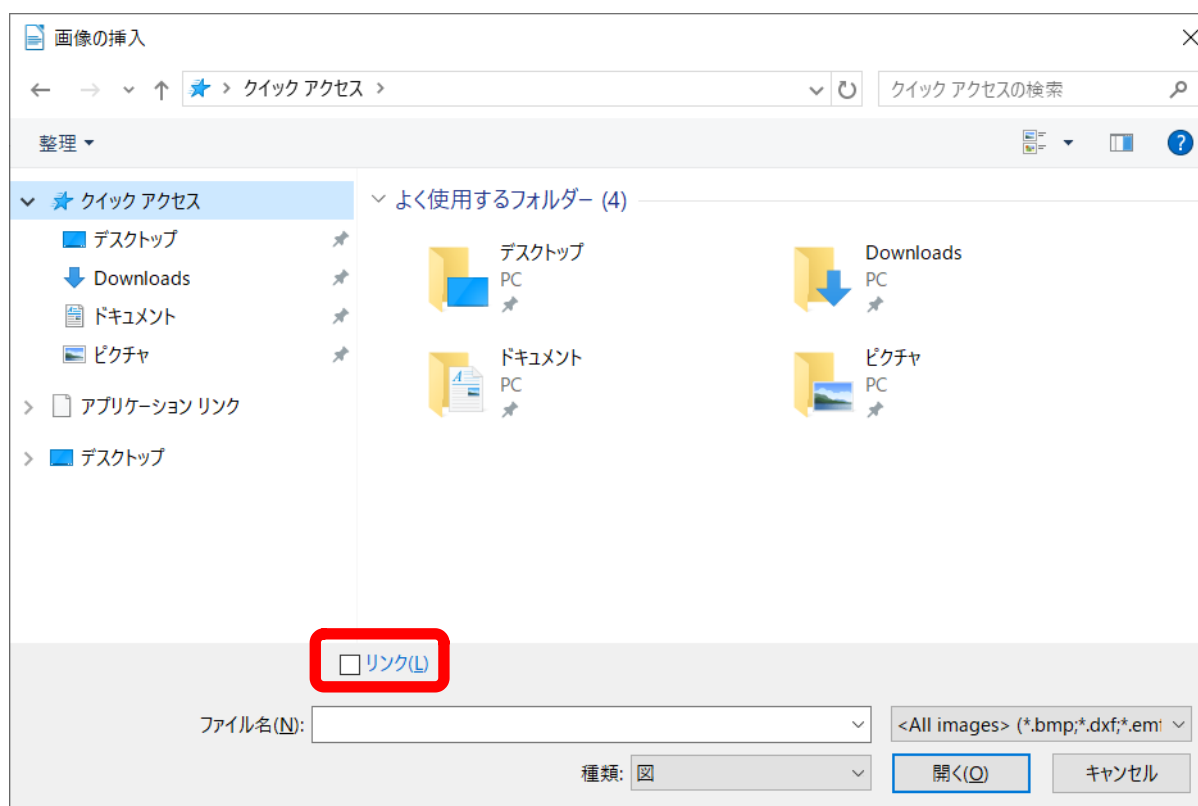
★ → 「画像の挿入」ダイアログがオープン。

(*) ドラッグ&ドロップやコピー&ペーストは6.3.3.2のWriterでは機能しない？（「セクション」ダイアログがオープン。…バグ？）



「画像の挿入」ダイアログ

- [リンク]というチェックボックスがある。
 - アプリによって位置は若干違う。



リンクって何？

ビットマップの挿入、編集、保存

LibreOffice 6.3 ヘルプ

モジュール ▾ 言語 ▾

Google カスタム検索

ご支援をお願いします！

索引 🔍

全てのモジュール内を検索

1 2 3 4 5 6

WRITER

- send -- outline to clipboard
- outline -- outline to clipboard
- clipboard -- outline to clipboard
- 検索 -- 再検索する
- セクション -- DDE を使用する
- DDE 指示 -- セクションを挿入する
- ブックマーク -- 挿入する
- 挿入；封筒
- レター；封筒の挿入
- 封筒
- ユーザー定義フィールド -- 制限
- タグ -- LibreOffice Writer
- LibreOffice Writer -- 特殊 HTML タグ
- HTML -- フィールドの特殊タグ
- フィールド -- HTML のインポートとエクスポート
- 時間フィールド -- HTML
- 日付フィールド -- HTML
- ドキュメント情報フィールド
- 論理式
- 条件式の作成
- 条件式 -- フィールドやセクションで使用

ビットマップの挿入、編集、保存

ビットマップを挿入する

LibreOffice Writer、LibreOffice Calc、LibreOffice Draw、および LibreOffice Impress のドキュメントには、ビットマップ画像が挿入できます。

1. 挿入 - 画像 - ファイルからを選択します。
2. ファイルを選択します。選択するファイルの種類は、ボックス **ファイルの種類** の指定により、特定のタイプに制限することができます。
3. オリジナルファイルへのリンクが必要である場合は、**リンク** ボックスをクリックします。
ボックス **リンク** をオンにすると、ドキュメントの更新、読み込み時に毎回、ビットマップ画像が再度読み込まれます。ドキュメント内で画像のローカルコピーに加えられた編集ステップが再適用されたあと、画像が表示されます。
ボックス **リンク** をオンにしない場合は、画像を最初に挿入したときに作成されたコピーが常に作業対象になります。
リンクとして挿入した画像を埋め込みオブジェクトとするには、メニュー **編集** → **リンク** を選択して、ボタン **リンクを切り離す** をクリックします。
4. **開く** ボタンをクリックして画像を挿入します。

ビットマップを編集する

画像バーのアイコン

When you select the bitmap image, the **Image Bar** offers you the tools for editing the image. Only a local copy is edited in the document, even if you have inserted an image as a link.

目次

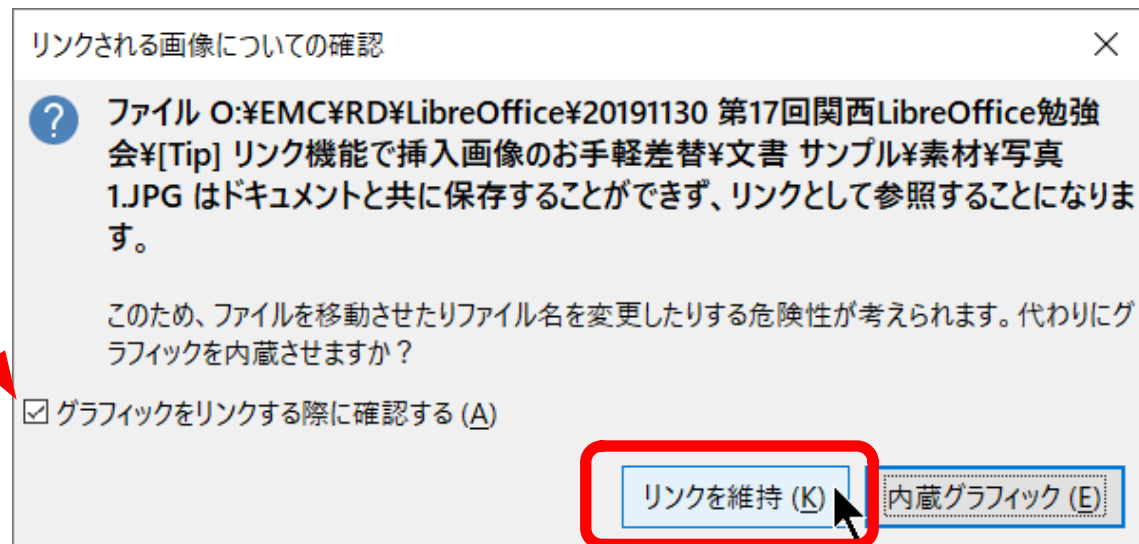
- マクロとスクリプト
- 表計算シート(Calc)
- グラフと図表
- LibreOffice のインストーラ
- 共通のヘルプ項目
- 一般的な情報
- LibreOffice と Microsoft Office
- LibreOffice オプション
- ウィザード
- LibreOffice の設定
- ユーザーインターフェースの使用法
- デジタル署名
- 印刷、Fax、送信
- ドラッグ&ドロップ
- コピーとペースト
- グラフと図表
- 読み込み、保存、インポート、エクスポート
- リンクと参照
- ドキュメントのバージョン管理
- 外部データの挿入

普通の挿入と何が違う？

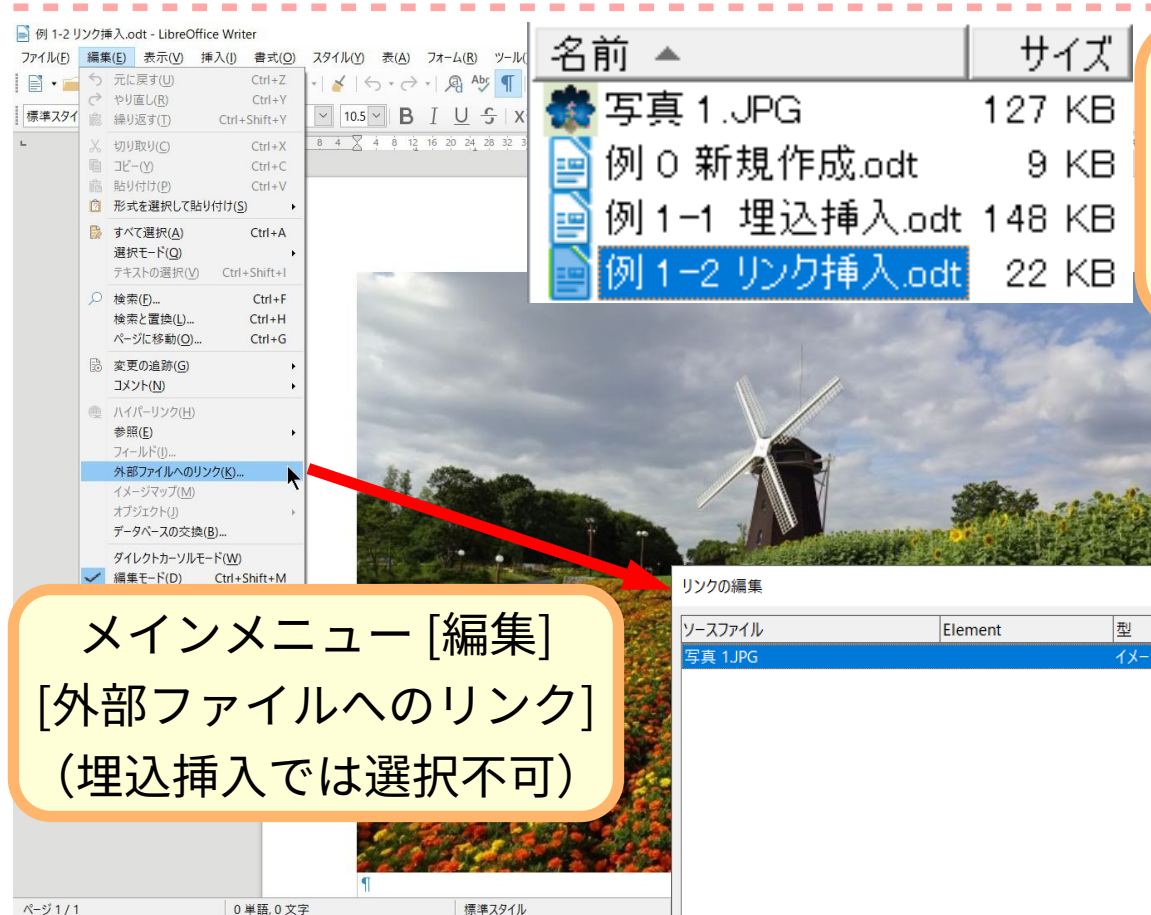
- 画像「本体」を文書内に埋め込まない。
- 画像ファイルは元場所に置きっぱなしにして、文書を開く都度それを読み込みに行く。
- そのため画像の置き場所だけ覚えておく。

ま…、やってみましょう

- 「画像の挿入」ダイアログで画像ファイルを選んで[開く]。
- 「リンクされる画像についての確認」ダイアログが現れる
- [リンクを維持]を選択。
 - [内蔵グラフィック]を選ぶと通常の埋込挿入に。
 - 以降、このダイアログがウザければチェックを外す。

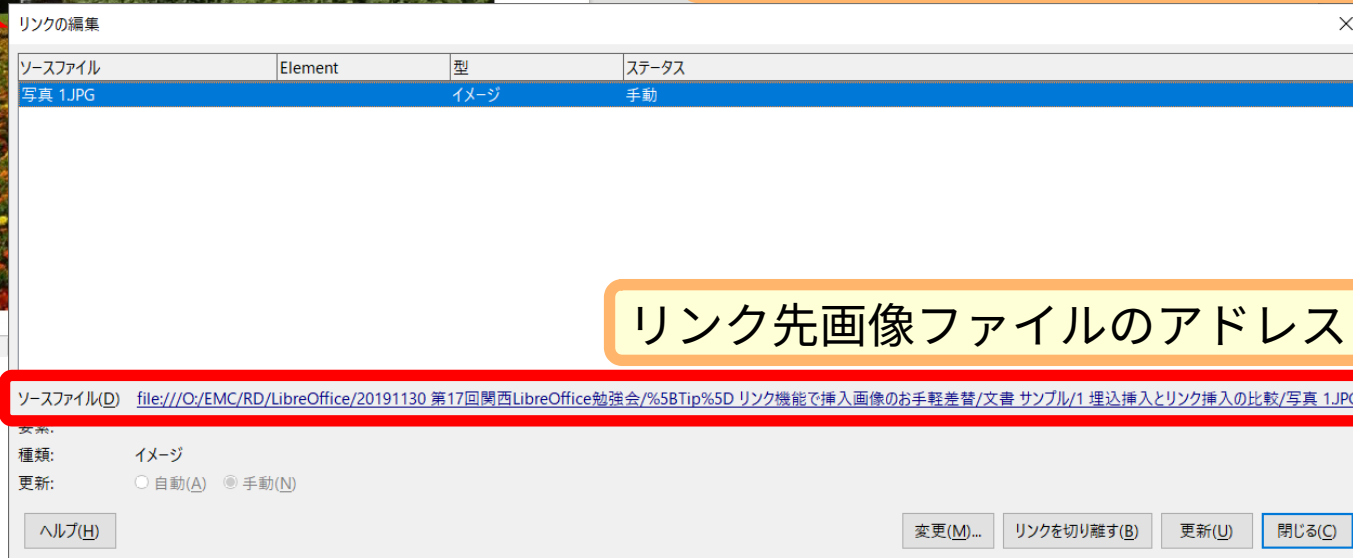


埋込挿入とリンク挿入の比較



- 画像分のファイルサイズ差。
(JPEGなのでZIP圧縮は効いてない)
- ページのサムネイルが生成されるので
多少は大きくなる。

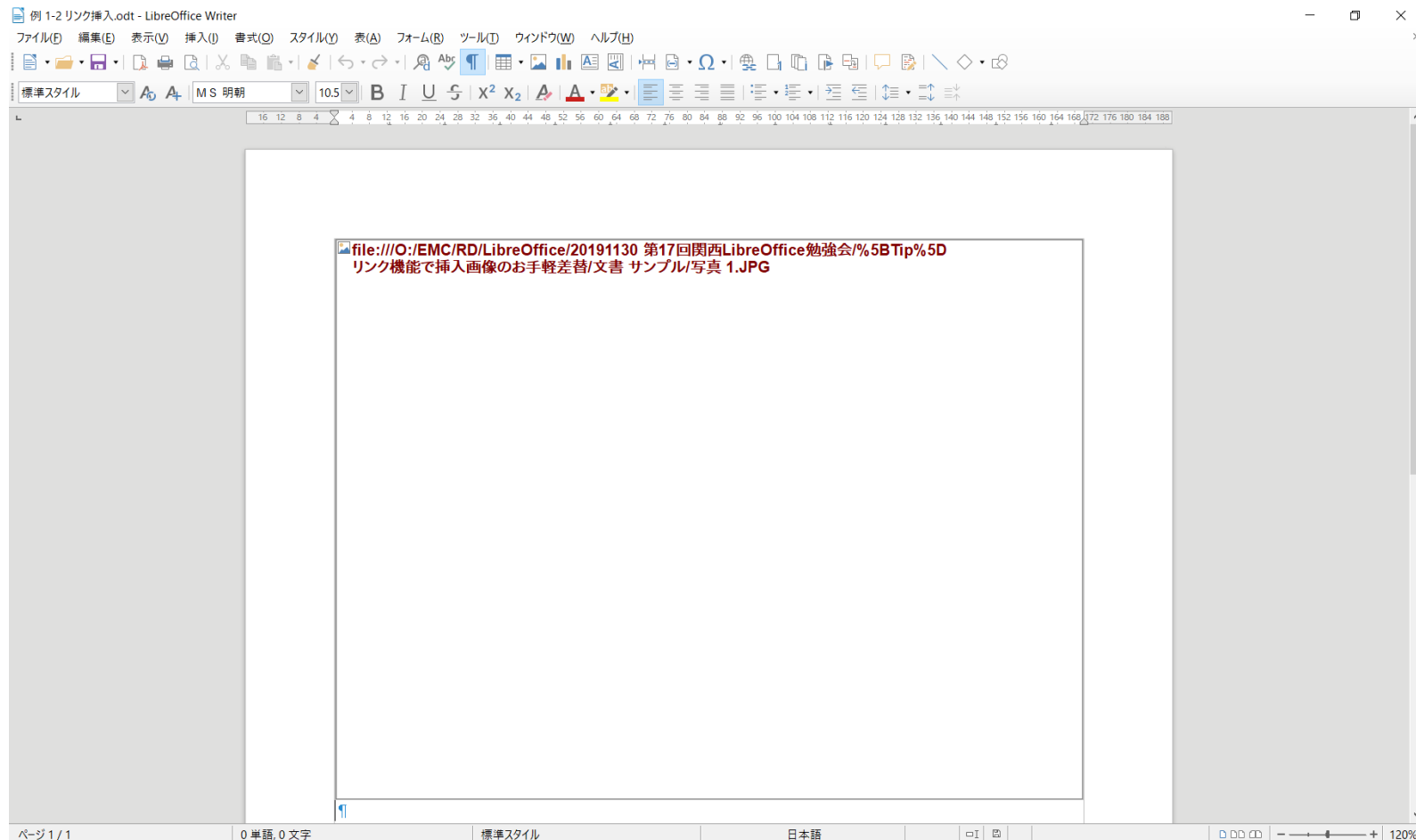
「リンクの編集」ダイアログ



リンク先画像ファイルのアドレス

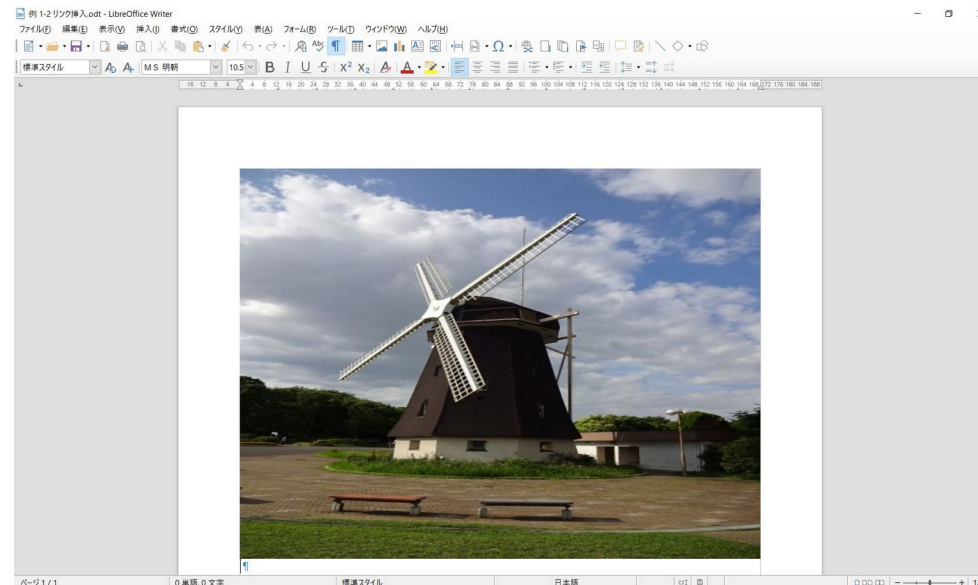
画像ファイルが無くなったら？

- こうなります。



画像ファイルが書き換わったら？

- 書き換わります（文書オープン時に更新）。
 - ただし縦横比が変わっていると歪みます。
 - LibO文書とは独立して編集・差し替え出来ます。
- いちいちLibO上で置換操作しなくていい。



リンク先アドレス

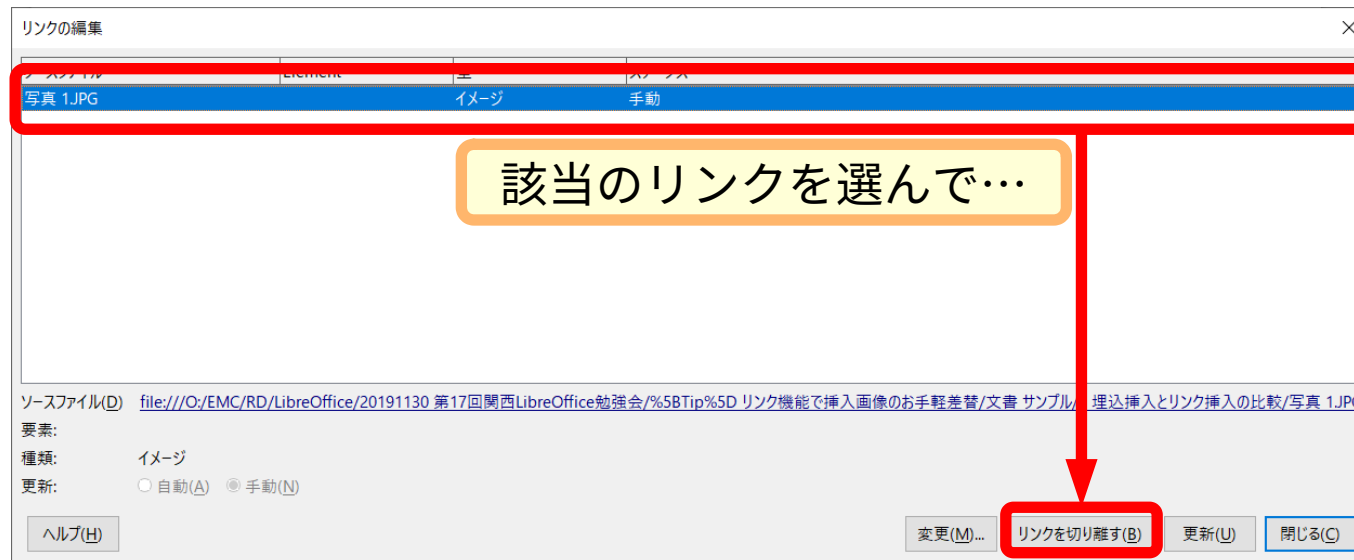
- 一見絶対アドレス指定に見えますが…、
文書ファイルの近場だと、
内部的には相対アドレスで記録されています。
 - サブフォルダや隣接フォルダなら相対アドレスに。
 - 位置関係が変わらなければコピーや移動が可能。
 - 遠いと絶対アドレスに（基準不明）。
- HTTP URLも指定可。
 - ネット画像にも直リンク出来ます（重いけど）。

エクスポートや変換はどうなる？

- 変換処理時点で画像が読み込まれ、変換先ファイルに埋め込まれます。
 - エクスポートでもコマンドライン変換でも。
 - 変換先はPDFでも他形式でも。

やっぱり全部文書内に埋め込みたくなったら…

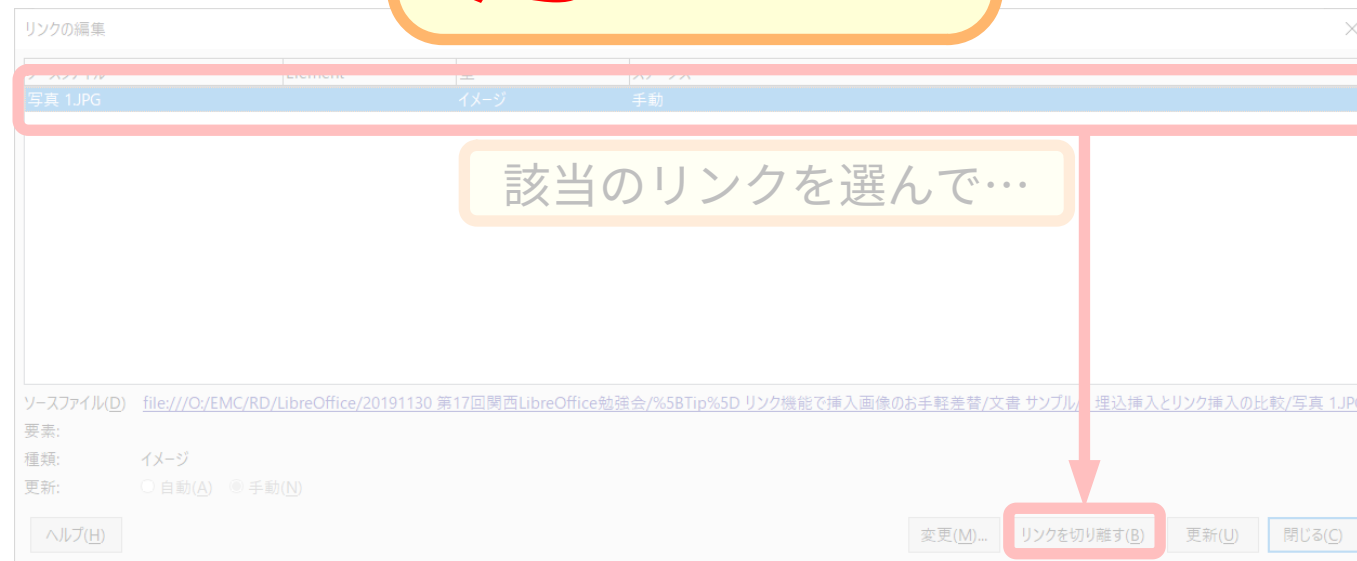
- ひとつひとつ手作業で置換してもいいですが…
- 前述の「リンクの編集」ダイアログの[リンクを切り離す]操作でまとめて埋め込みます（リンクは消失）。
 - このダイアログで[変更]や[更新]の操作も可。



やっぱり全部文書内に埋め込みたくなったら…

- ひとつひとつ手作業で置換してもいいですが…
- 前述の「リンクの編集」ダイアログの[リンクを切り離す]操作でまとめて埋め込み（リンクは消失）。
- このダイアログでも一括置換も可。

が！



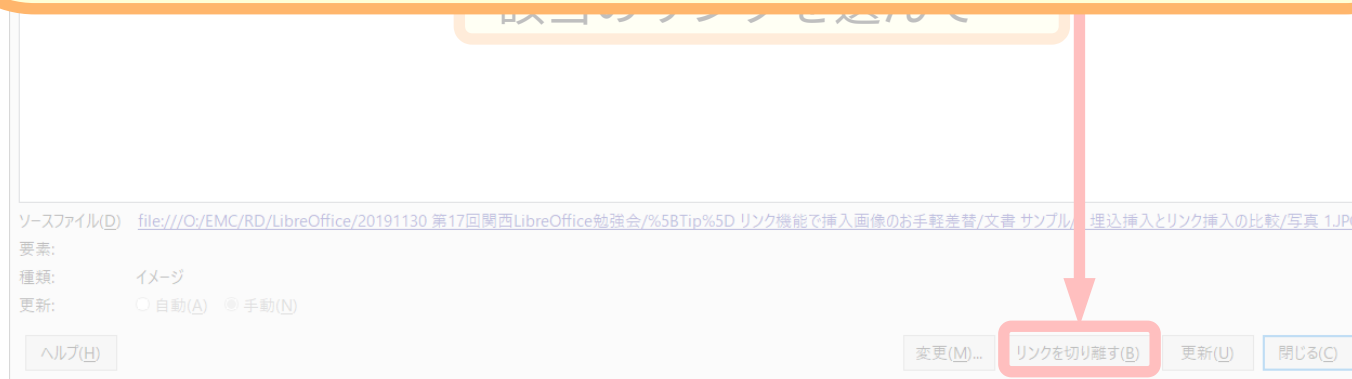
やっぱり全部文書内に埋め込みたくなったら…

- ひとつひとつ手作業で置換してもいいですが…

- 前述
操作

Writer以外では機能してくれないことに
今朝気づきました…orz。

(このスライド資料で。)
…バグ？



さて、どんな風に使えるだろう？

- 挿入画像確定前のドラフトとして。
 - 画像と文書の作成を切り離して進めたり、随時差し替えたり出来る。
 - 論文、手順書、小冊子、同人誌、チラシ、etc...
- 画像の差し替え印刷的に。
 - FlatODF形式を使えばテキスト処理とコマンドライン変換でかなりのことが出来る（少々不正なハッキングですが…）。
 - Base64エンコードなしにファイルコピーやファイル名置換だけで済む。
 - 画像入り帳票、自動レポート、写真帖、物品管理簿、etc...
- 文書受け渡し時の容量節約…なんてニーズはないか（汗）。
- その他……アイデアあれば教えて下さい♪

とはいえ不便なところも…

- 挿入のたび毎回[リンク]にチェックを入れるのが面倒。
- ファイル名を変えたい時には手作業で置換操作しないといけない。
- 画像がリンクなのか埋め込みなのか把握しにくい。
(アプリや画像の種類にもよる。)
- 現状、Writer以外ではリンク→埋込の一括処理が出来ない…。

まあ、何か使いようはあるのでは…

補足1：画像の種類による挙動の違い

- ラスター画像
(JPEG、PNGなど)
 - 素直。
- ベクター画像 (PDF、SVGなど)
 - 画像「本体」は文書に埋め込まれないが、表示用の代替画像 (PNG) が自動生成され埋め込まれる。
 - ファイルサイズは存外膨れる。
 - ファイル差替は機能する。

名前 ▲	サイズ	項目の種類
PDF 1 .pdf	4 KB	PDF ファイル
SVG 1 .svg	425 KB	Chrome HTML Document
写真 1 .JPG	127 KB	JPG ファイル
写真 2 .JPG	91 KB	JPG ファイル
例 0 新規作成.odt	9 KB	OpenDocument テキスト
例 1-1 埋込挿入.odt	148 KB	OpenDocument テキスト
例 1-2 リンク挿入.odt	22 KB	OpenDocument テキスト
例 2 HTTP リンク.odt	11 KB	OpenDocument テキスト
例 2 HTTP 埋込.odt	13 KB	OpenDocument テキスト
例 3 PDF&SVG リンク.odt	67 KB	OpenDocument テキスト
例 3 PDF&SVG 埋込.odt	152 KB	OpenDocument テキスト

補足2：アプリによる挙動の違い

- Writer

- 画像に[プロパティ]というメニューがある。

- メインメニュー [書式] [画像] [プロパティ] または、画像選択からのコンテキストメニュー [プロパティ] を選ぶと「画像」ダイアログが表示される。

- ダイアログの[画像]タブ内に[リンク]欄があり、リンク先ファイルをここでも変更できる。

- その他

- リンク→埋込の一括処理が出来ない。



補足3：画像以外のリンク

- オブジェクト（LibOファイル）……利用には色々難あり
 - リンクは張られるが、表示用の代替オブジェクトが文書ファイルに埋め込まれる。それが無茶苦茶大きくてファイルサイズが膨れる。
 - 文書オープン時に毎回、リンク先データ読込の承認操作が要る。
 - コマンドラインでのPDF変換では更新前の代替オブジェクトが使われる。
 - 挙動や操作がアプリによって違う。
 - FlatODFへのオブジェクト挿入は難が多くて使い物にならない。
 - リンク挿入出来ず、全て埋込挿入になる。
 - リンク/埋込問わず、保存後再オープン不可（クラッシュなど）となることがある（再現条件不明）。
- オーディオまたはビデオ、背景画像、セクション（Writerのみ）
 - 試せてませんすみません。